

令和6年度「学校自己評価」についての意見等（関係者による評価）

武蔵野音楽大学附属高等学校

- 3年間で様々なことを経験させていただきました。コンサートも多く、色々な方の前で披露する機会を作っていただけることは子どもたちにとっても日々の練習の成果を発揮できる良い機会と思います。  
進路に関しては3者面談後からの詳細がよくわからず、要項も附属生はどこを参照すればよいのかわかりづらかったです。附属生用の流れ(日程等)の一覧があると良かったです。  
少人数のため先生方との距離も近く、よく見ていただいていたと思います。
- 本校は時代の流れに沿って、学校の在り方や生徒への指導/教育に柔軟に対応しています。  
現在は火曜・木曜に大学キャンパスでの授業をし、生徒達は良い緊張感の中レッスンや勉強をすることが出来ています。  
また、高大連携プログラムにより大学の授業を在学中に受講することで、音楽的なレベルアップに繋がっております。  
先生が優しく生徒は気兼ねなくコミュニケーションを取り、レッスンが受けやすい環境にあります。  
そして、演奏の機会が多く設けられているので、場慣れのチャンスや生徒のモチベーションにもなっています。
- 学芸的行事に位置づけられる、様々な演奏会でステージセッティング等、生徒が多方面に活躍する場面を見ることができました。  
また、地域連携として武蔵野幼稚園で演奏したり、入間市文化創造アトリエのアミーゴで学ぶ《モーツァルト》に出演させていただきました。この講座では、ナビゲーターの伊東先生が生徒の演奏曲について興味深く、専門的内容もわかりやすく解説をして下さいました。我が子もモーツァルトの時代背景や曲構成などにも興味が増し、大変貴重な経験だったと感じました。
- 大学との連携が年々強化されていると感じます。生徒は大学進学に向けて具体的な目標設定がしやすくなり、それは「学びへの安心感」に繋がることでしょう。  
カリキュラムが更に充実するとともに、確実に多様化しています。また、地域との交流や校外活動も盛んになり、外に出て学び合う機会も着実に増えています。  
伝統ある武蔵野の精神を継承しつつ、時代の変化に対応し、強く柔らかく生き抜く力を身に付けられる教育が実践されています。生徒一人一人が、御校卒業生であることに誇りを持ち、真心ある音楽家に成長してくれる事を願います。
- 評価内容を拝見し、安全面への配慮が行き届いており、生徒が安心して学べる環境が整っていると感じました。また、昨年度は、本校に素晴らしい演奏を披露しに来てくださり、子どもたちにとって大変貴重な経験となりました。音楽を通じて多くのことを学ぶ機会となり、小学生の心に深く響いたようです。同時に、この活動が高校生の皆さんにとっても成長や経験値を積む機会となったと思います。このような交流を実現して下さったことに心から感謝いたします。今後もこのような素晴らしい取り組みが続いていくことを期待しています。